

福岡市スポーツ推進計画（案）への市民意見と対応について（案）

受付No.	意見No.	受付日	受付方法	ページ	項目	該当箇所	意見要旨	意見への対応	市の考え方 ※理由を明記、ページは記載しない
1	1	4月1日	郵送	24	Ⅲ 市民スポーツの現状と課題	(8)スポーツ活動の場や機会等	私が住んでいる場所は運動をする施設が少ないように思う。家の中で運動をするにしても限界があり、体育館（公共）もコロナだからといってすぐに閉めないでほしい。短い時間でもいいので公共の体育館を利用したい。	原案どおり	いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
2	2	4月5日	メール	30	Ⅳ 施策の推進	2 施策の方向性 施策1-1④女性、障がい者、働く世代などのスポーツの促進	昨年の東京2020パラリンピックをとおして、多くの方が障がい者の方がされるスポーツの魅力に気づいたのではないかと思う。障がいがある方だけではなく、全ての方が学校やスポーツイベントなど、様々な場で例えば、ブラインドサッカーや車いすバスケットなどのスポーツを見たり体験したりする場を増やしていくことで、相互理解や障がい者の方の社会参加の援助につながるのではないかと思う。	原案どおり	いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
2	3	4月5日	メール	34	Ⅳ 施策の推進	2 施策の方向性 施策1-4②市民総合スポーツ大会、福岡マラソン	5キロの次がフルマラソンというのは、やってみようという人にハードルが高すぎるのではないかと思う。ハーフマラソンの部を設けてみてはどうか。	原案どおり	いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
2	4	4月5日	メール	39	Ⅳ 施策の推進	2 施策の方向性 施策3-3②スポーツに関する人材の育成	地域でのスポーツクラブや、部活動の外部指導者の中には、練習中や試合中に聞くに堪えないような怒声（罵声）を子どもたちに浴びせる人がいる。これでは子どもたちがスポーツを好きになることはできないと思う。勝つことにこだわるのではなく、子どもたちがスポーツを楽しみ、好きになることを第一とする指導をするよう、指導者を育成していく必要があると思う。	原案どおり	いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
3	5	4月11日	メール	6	Ⅲ 市民スポーツの現状と課題	(1)新型コロナウイルス感染症の影響	「新しい生活様式」が示される中、「ウイズコロナ、ポストコロナの時代に即したスポーツを推進」とあるが、具体的などのような施策があるのかを掲載してはどうか。	原案どおり	本計画は、市のスポーツ施策を推進していく上での基本的な方向性を示すものであり、いただいたご意見については、今後、計画を踏まえた取組みの参考とさせていただきます。
3	6	4月11日	メール	37	Ⅳ 施策の推進	2 施策の方向性 施策3-1①公共スポーツ施設の 利便性の向上、計画的な維持管理 について	10人程度でサッカーやラグビーのミニゲーム的な運動を行う場所がない。抽選で予約して使用するグラウンドはあるが、落選した場合は活動ができない。一定のルールは必要だが、気軽に利用できる無料の多目的グラウンドがあれば、身近に運動する機会が増えるのではないか。	原案どおり	いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
4	7	4月11日	窓口	11	Ⅲ 市民スポーツの現状と課題	(3)健康づくりとスポーツ	スポーツをみる、ささえるについてはコストがかかりすぎである。市施設についても同じ人が何度も利用するなど、有効に利用されていない現状があると思う。そのためだけでもできるウォーキングについて、手間もコストもかからず、健康を含めた効果があることをPRしながら施策をすすめること。また、ウォーキングを行う歩道において、自転車のマナー違反等があり、危険に感じることがあるので、安全に歩道を利用できるようにしてほしい。	原案どおり	いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。